
white white white...

ma.na

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

white white white…

【コード】

N2993G

【作者名】

mana

【あらすじ】

ホワイトデーに突然哀に差し出されたもの…ほのほのやりとり

『ほい、これ』

新一から差し出された包み。

今日は記念日でもない

何かを頼んでいた覚えもない。

なのに今自分の目の前には何かが差し出されている。

「何？これ……」

「何？ってお前、ホワイトデー。」

バレンタインに何かを渡した覚えはない。

牧師が殺害された日に愛を語り合っなんて馬鹿らしいと思っていたから。

「ホワイトデーってバレンタインデーのお返しじゃなかったかしら？私あげてないわよ。他に渡すべき人がたくさんいるんじゃないの？」

そう、新一は抱えきれないほどのチョコレートをもらっていた。

郵送されてきたものもかなりの量でしばらくチョコレートばかり食べる日々がしばらく続いていた。

「そういう意味のもんじゃないっつもの」

新一の言葉に目を丸くする。

「貴方何言ってるの？意味がわからないわ。」

「ホワイトデーだぞ。白だ白。」

ますます意味がわからない…

「哀には白が似合う。でもオメー絶対着ようしねえだろ？」

哀は絶対に白いものを身に付けようとしなかった。

自分に白なんて澄んだ色は似合わない。そう思っていたから。

「あの…雪の日から。俺オメーに惚れてたんだよきつと。」

顔を赤らめながら新一は更に強くプレゼントを差し出した。

中身は真っ白なワンピース。

「キレイ…」

これが…私に？着れるの？

「哀。今度の週末さ、ディナー予約したから。それ着て行くつぜ」

W
h
i
t
e

W
h
i
t
e

W
h
i
t
e

d
a
y
:

(後書き)

時期的に：みたいな感じですね。哀ちゃんには是非迷いなく白い服を着てほしい。そんな作者の願いから、です

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2993g/>

white white white...

2010年10月17日20時23分発行